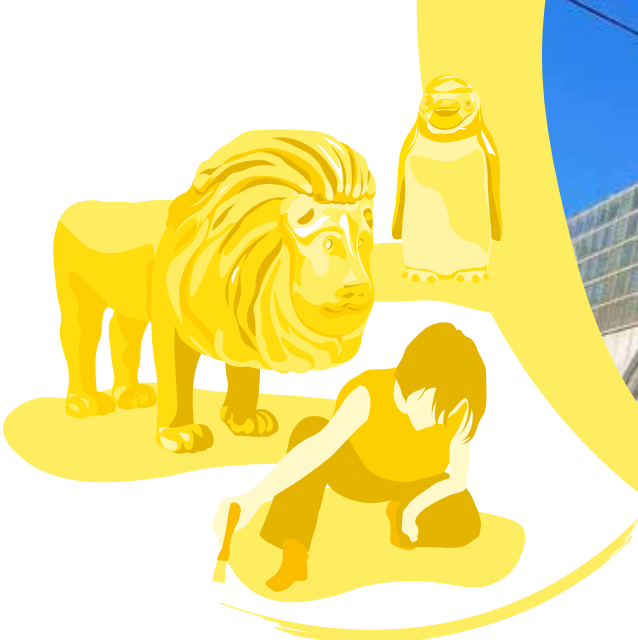




だれもか「アート」を
感じられるまち



中村橋へ

美術のまち構想



上のマークは音声コードです。専用アプリ(Uni-Voice)で読み取ると、
美術のまち構想の概要を音声で聴くことができます。

構想における将来像

将来像

01

まちのあちこちに
アートなスポットが
あふれている

駅を降りると、周辺には様々なアートな演出が施されています。また、美術館への動線やまちのあちこちには、アート作品が展示されています。美術館へ向かう人や、美術館でアートを楽しんだ人、このまちで生活している人、活動をしている人は「アートなまちにいる」ことを実感しています。

練馬区立美術館・貫井図書館は、再整備により機能が大きく向上しました。また、建築的にも大変魅力的な施設となり、地域の新しいランドマークとして愛されています。地域の方々は自分たちの身近にあるこの施設に誇りと愛着を持っており、積極的に運営や活動に関わっています。

美術館・図書館を起点に
新しい交流がうまれる

将来像

02

アートを軸とした
さまざまな活動が
まちなかで行われている

中村橋では、地域の方々によりアートに関連した活動やイベントが多く行われています。そこに集まる人々はアートを軸としてつながり、また新たな活動が生まれています。さらに、地域の方々や商店街も日常的にアートを意識するようになり、まち全体がアートな雰囲気に包まれています。

将来像

03

構想では、まちなみ整備、アートを通じた地域の交流、まちなかでのアート活動について、3つの将来像を描いています。

将来像実現のプロセス

3つの将来像を実現するためには、地域の皆さん、事業者などまちに関わる方々と行政が一体となって取り組む必要があります。
そこで、みなさんと将来像を共有し「掘る、植える、咲かせる」のプロセスで実現を目指します。

1.掘る



まちづくりに必要なひと・もの・ことを探す、見つける

将来像の実現には、積極的にまちづくりに参加してくれる人やまちなかの整備 やイベントなどに活用できる場所、アートとまちをつなぐテーマが必要です。これらを見つけていくプロセスを「掘る」とします。

2.植える



まちなかに仕掛けを施す

「掘る」のプロセスによって見つけたひと・もの・ことを活かして、まちにアートな演出を施したり、アートを感じる取組を実施します。

3.咲かせる

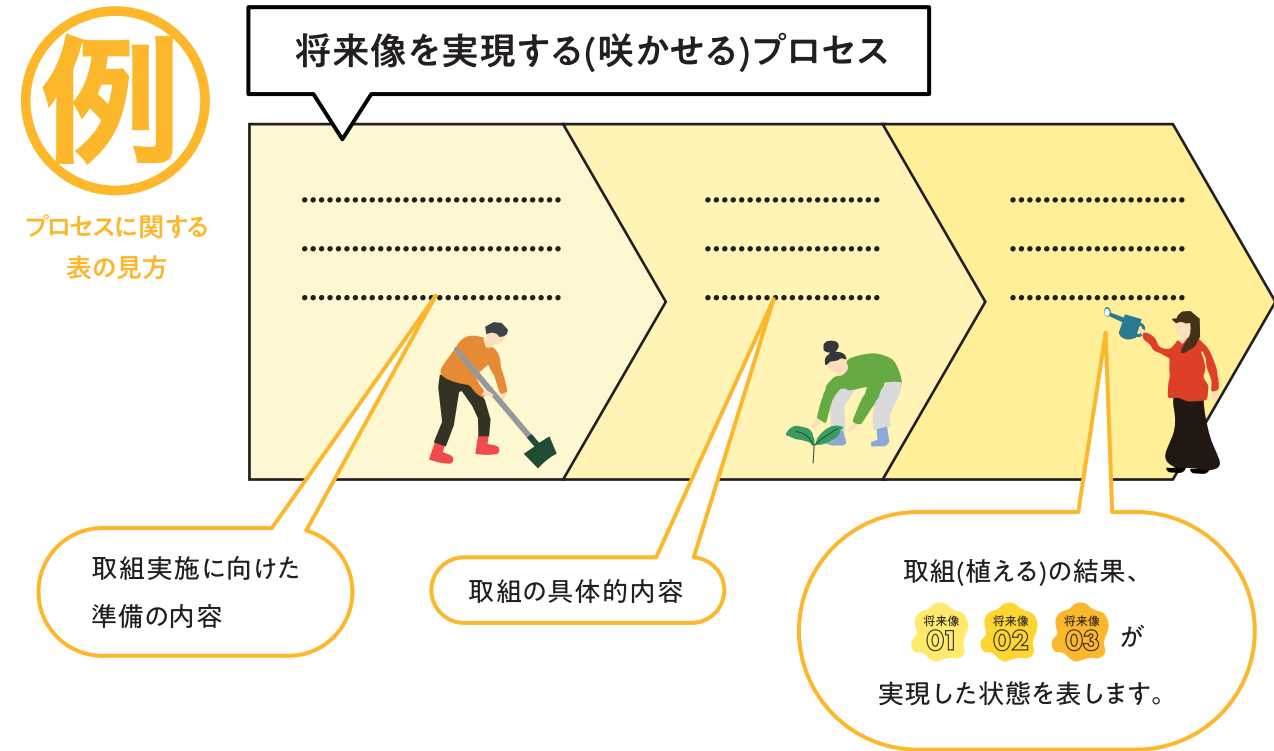


アートでまちの魅力を高める

「掘る」「植える」のプロセスを経て、アートの花を咲かせます。

将来像と「掘る」「植える」「咲かせる」のプロセス

次ページ以降に将来像の詳細と、取組を説明しています。
将来像と上記プロセスの関係は次のとおりです。





まちのあちこちに アートなスポットがあふれている

将来像
01



美術の森緑地の 動物モニュメントがまちなかに！

現在、美術の森緑地にある動物のモニュメントは、子どもから大人まで幅広い世代に親しまれています。
その一部を、まちに設置することにより小さなころ遊んだ思い出をまちなかで思い出すきっかけや、それを接点とした交流が生まれることが期待されます。

アート・
コミュニケーション・
コリドーを作ります

美術館、中村橋駅、南口駅前広場、商店街をつなぐ「アート・コミュニケーション・コリドー」を整備します。
まちなかにアートを点在させ、中村橋を訪れる人々とまちや美術館とのコミュニケーションを創出します。美術館とコリドーが相乗効果により、まちを魅力的にします。
アートを感じられる雰囲気がまちに定着していく中で、徐々に広い範囲に足を延ばす人が増え、アートコミュニケーションの輪が幾重にも広がっていくことを想定しています。

美術館エントランスへつながる道

美術館への期待感を抱きながら歩きたくなるアートな演出を施した道として整備します



中杉通り

買い物客にも新しい中村橋を認識してもらえよう、アートな仕掛けを施します



Art museum
Library

Art communication
Corridor
アート・コミュニケーション・コリドー

Nakamurabashi Sta.

駅北側側道

美術の森緑地

新しい美術館、図書館の前庭として、建物と調和した緑地に改修します

中村橋駅南口駅前広場

コリドー内で貴重な広い空間を生かして、人とアートが交わる場所とします

中村橋駅

まちの玄関口として、アートを感じられる雰囲気で来訪者を迎え入れます

将来像を実現する(咲かせる)プロセス

アートなまちなみ整備に活用できる
地域資源を
見つける

地域資源を活かした
アートスポットを
整備

アートな
スポットが
あふれている





美術館・図書館を起点に 新しい交流が生まれる

将来像
02



人と人、人と地域が
つながる仕組みを
作ります

美術館・図書館と地域をつなぐ、
新たな担い手の育成や、場の提供
を行います。

施設の特徴を活かし
人々の交流のきっかけを
作ります

美術館・図書館の融合、施設の特徴となるシェード
(※1)がつなぐ自由な空間、一体で運用する美術
の森緑地など施設の特徴を活かして、さまざまな
目的で訪れる人々が集い、交流するきっかけを
作ります。

※1 建物を覆う、幾重にも重なる階段状の屋根のようなもの。
緑地と建物をつなぎ、イベントなどでもできるオープンスペース。

将来像を実現する(咲かせる)プロセス

シェード、屋上、
緑地など「からまり
しろ(※2)」を意識した
交流が生まれる
空間を作る

空間を活用し、
区民が主体的に
楽しめるようにする

交流が
広がって
いる



シェードで楽しむ

※2 練馬区立美術館を設計する平田晃久氏の建築理念であり、建築を自然と対立する人工物
としてではなく、生態系の一部として根本的にとらえなおしたときに、
からまる余地(しろ)を表現した同氏の造語



美術館・図書館と
商店街がつながる

将来像を実現する(咲かせる)プロセス

美術館・
図書館を
盛り上げる
人材を
見つける

美術館の運営を支援するだけでなく、主体的に
ワークショップなどを企画したり、商店街と美術館の
橋渡し役となる人材を育成する制度を設ける

新しい
交流が
生まれる

図書館と地域の書店等が、
講座の共催や店主おすすめの
本の展示など、相互のつながりをつくる

ワークショップの開催





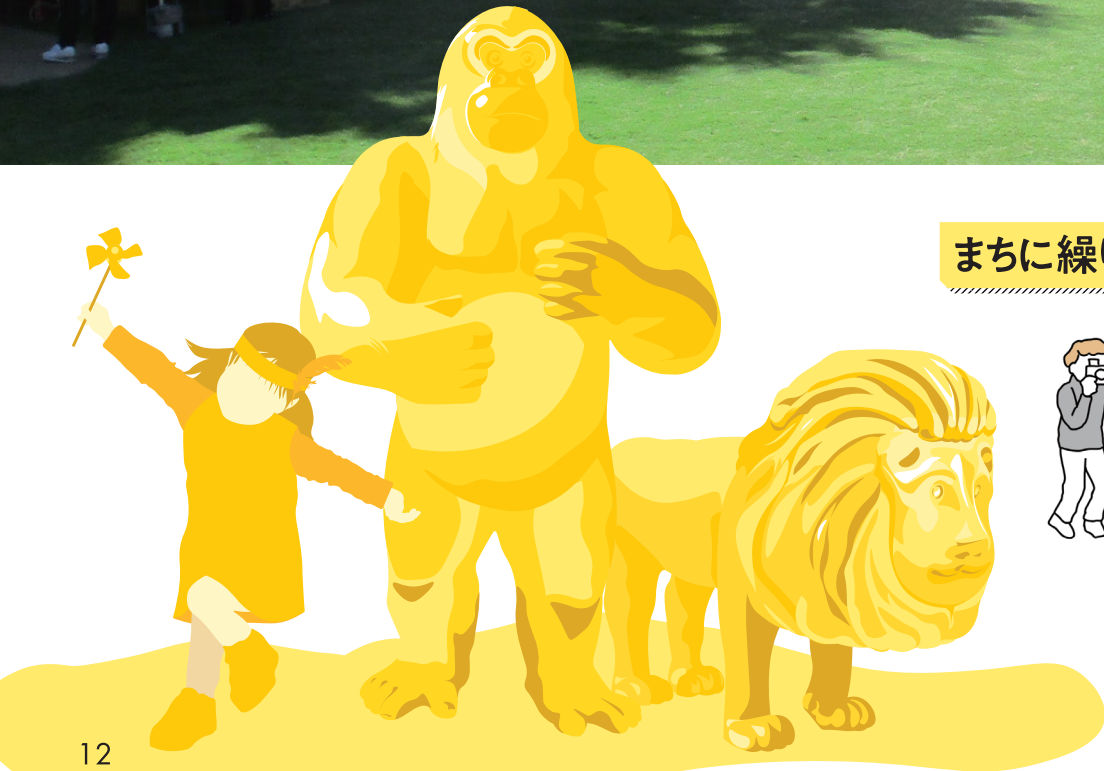
アートを軸としたさまざまな活動がまちなかで行われている

将来像

03



まちに繰り出す美術館イベント



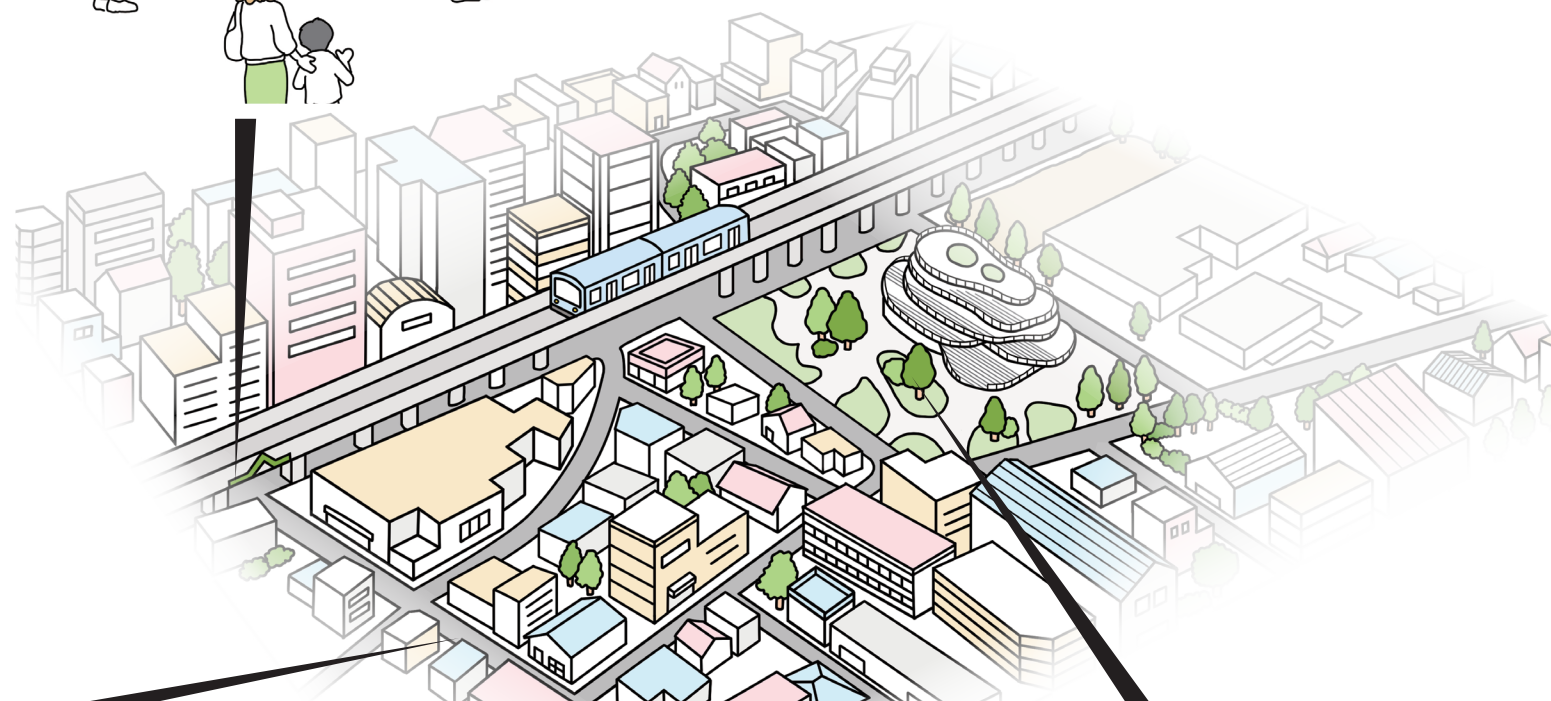
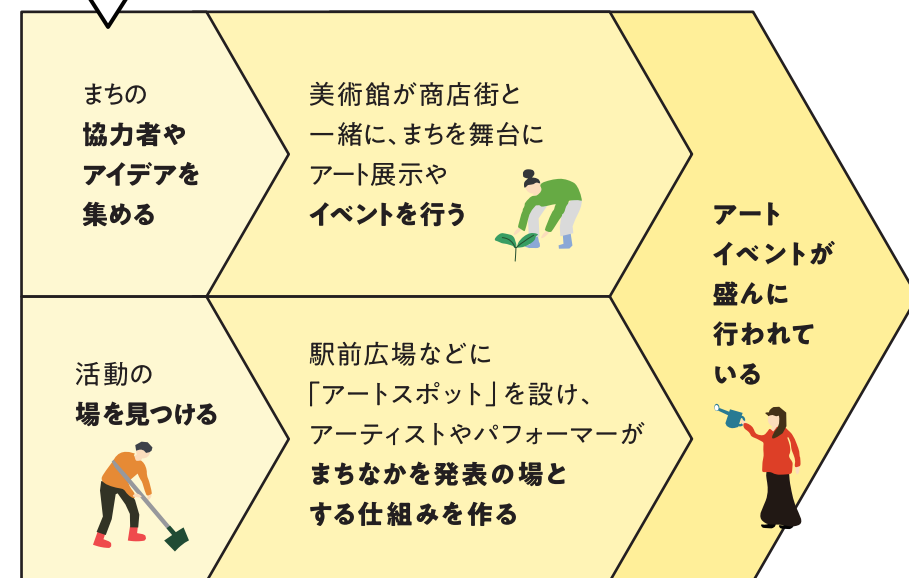
“まち×アート”が コラボします

日常的にアート活動が行われ、
まち全体でアートを感じられる
ようにします。

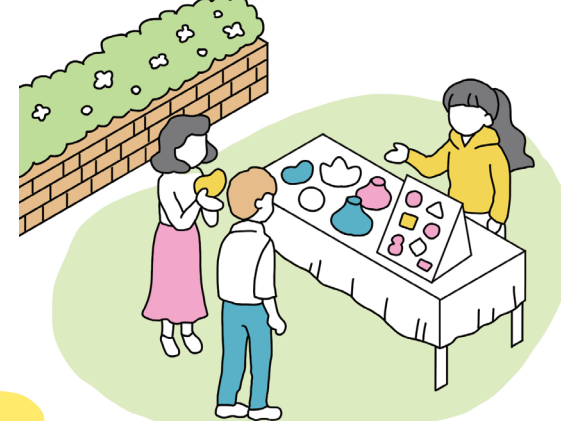
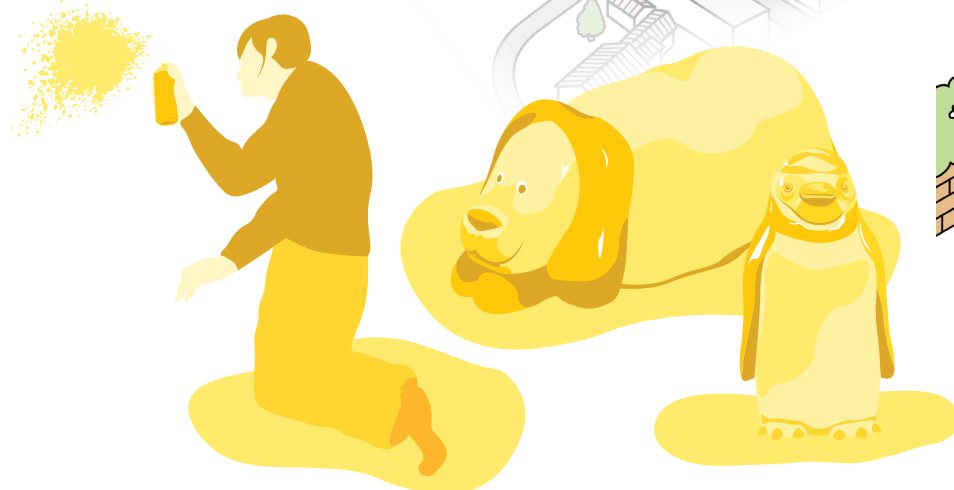
アートスポットでパフォーマンス



将来像を実現する(咲かせる)プロセス



みどりの中でアートイベント



中村橋駅周辺のこれまで&これから

1920年代

● 中村橋駅開業



昭和中期中村橋駅(西武鉄道提供)



暗渠化前の千川上水

1950年代

● 千川通り開通



開通当初の千川通り

1980年代

● 美術館、図書館開館



開館当初の美術館、貫井図書館

2000年代

● 西武鉄道
池袋線
高架化



池袋線高架化後の新駅舎

2025(R7)

● 「美術のまち構想」策定

2010年代

● 美術の森緑地
リニューアル



美術の森緑地リニューアル

まちとつながる
アートマルシェ

アートのスポット
事業開始

コリドーが
整備され始める

新たな担い手・人材を
育成する制度開始



● 新しい美術館・
図書館OPEN!

オープニング
イベント実施

シェードを活用した
イベント開始

アートの花が
咲き続ける

コリドーが
充実していく

【こちらでも情報発信をしています】



区 HP



Instagram



寄付募集

美術のまち構想

～だれもがアートを感じられるまち中村橋へ～

令和7年(2025)3月

発行 練馬区 地域文化部 美術館再整備まちづくり担当課

住所 〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

電話 (03)-3993-1111(代表)

FAX (03)-5984-1226

練馬区ホームページ <https://www.city.nerima.tokyo.jp/>